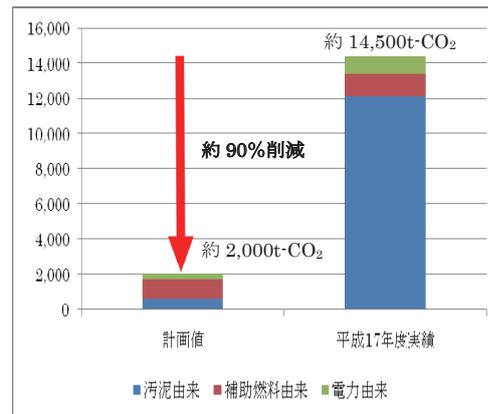


# 資源のみち部門

## 清瀬水再生センター 下水汚泥ガス化システム

～わが国初 下水汚泥から新たなエネルギーを生み出し、地球温暖化防止に貢献する～  
東京都

下水汚泥ガス化炉全景



温室効果ガス削減効果

### 下水汚泥ガス化炉施設における処理の流れ



#### CO<sub>2</sub>削減のしくみ

- 1 高温で蒸し焼きすることで温室効果ガスの発生を抑制します。
- 2 下水汚泥を熱分解・精製しガス発電で有効利用します。
- 3 回収した熱を汚泥の乾燥に利用することで、補助燃料を削減します。

#### 事業効果

- 温室効果ガス削減量 約 12,500t-CO<sub>2</sub>/年  
昭和記念公園（163ha）の面積の約 20 倍の森林が吸収する量に相当
- 生成ガス量 約 12 万 GJ/年  
一般家庭の約 8,500 世帯分に相当
- 汚泥ガス化による発電電力量 約 80 万 kW/年  
一般家庭の約 220 世帯分に相当

東京都では、清瀬水再生センターにおいて、温室効果ガス削減対策、再生可能エネルギーの創出を目的として、日本初となる下水汚泥ガス化炉施設を導入しました。

計画時（平成 17 年度）の温室効果ガス排出量に対し、年間約 12,500t-CO<sub>2</sub> の温室効果ガス削減効果が見込め、東京都の地球温暖化施策に大きく貢献するものです。